

SHARP®

インフォメーションディスプレイ

形名

PN-S655

PN-HS655

操作マニュアル

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

本書をお読みになる前に、付属の「取扱説明書」を必ずお読みください。

●本書は、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

もくじ

基本的な操作	3
各種設定メニュー	5
メニューの基本操作	5
メニュー項目の詳細	6
コンピュータ画面の調整について	11
初期化（リセット）・機能制限設定	12
コンピュータで本機を制御する（RS-232C）	13
接続のしかた	13
通信仕様	13
通信手順	13
RS-232C コマンド一覧表	17
コンピュータで本機を制御する（LAN）	22
ネットワークに接続するための設定をする	22
コンピュータで制御する	24

本書では、主に操作や設定などについて記載しています。
接続や設置については、付属の取扱説明書をご覧ください。

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。
残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

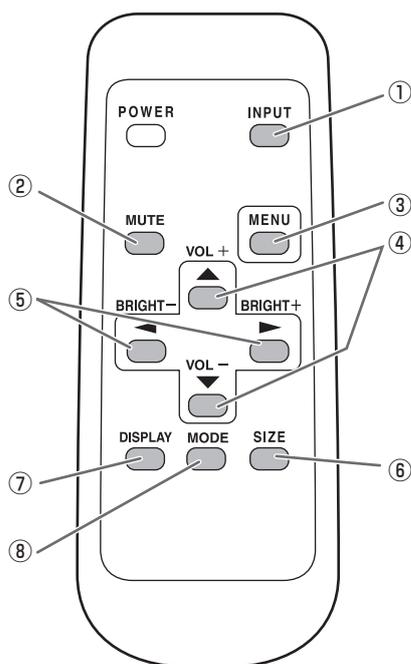
表記について

- 本書は、PN-S655、PN-HS655 共通の取扱説明書です。
- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Reader はアドビシステムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社リコーが製作、販売したりコービットマップフォントを搭載しています。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

基本的な操作



① INPUT(入力切換)

メニューが表示されます。▲▼で入力モードを選び ▶で決定します。
 ※ 本体のINPUT(入力切換)スイッチを押しても、入力端子を切り換えることができます。

入力モード	映像	音声
PC1 DVI-D※ ¹	PC1 入力端子	PC 音声入力端子
PC2 HDMI※ ²	PC2 入力端子	
PC3 D-SUB	PC3 入力端子	
PC4 RGB※ ³	PC4 入力端子	
AV1 DVI-D※ ¹	AV1 入力端子	AV 音声入力端子
AV2 HDMI※ ²	AV2 入力端子	
AV3 コンポーネント※ ³	AV3 入力端子	
AV4 S ビデオ	AV4 入力端子	
AV5 ビデオ	AV5 入力端子	

- ※1 「DVI 端子選択」で使用する端子を選びます。(7ページ)
- ※2 「HDMI 端子選択」で使用する端子を選びます。(7ページ)
「HDMI 音声選択」で音声を入力する端子を選びます。(7ページ)
- ※3 「BNC 端子選択」で使用する端子を選びます。(7ページ)

② MUTE(消音)

音声を一時的に消します。
 もう一度押すと元の音量に戻ります。

③ MENU(メニュー表示)

メニューが表示されます。
 メニューについては詳しくは5ページを参照してください。

④ VOL +/-(音量調整)

メニューが表示されていないときに、▲や▼を押すと音量メニューが表示されます。



▲や▼で音量を調整します。

※ 音量メニューを表示したあと、約4秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

⑤ BRIGHT +/-(バックライト調整)

メニューが表示されていないときに、▲や▼を押すと明るさメニューが表示されます。



▲や▼で明るさを調整します。

※ 明るさメニューを表示したあと、約4秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

⑥ SIZE(画面サイズ切換)

メニューが表示されます。▲▼で画面サイズを選びます。(4ページ)

⑦ DISPLAY(状態表示)

ディスプレイの各情報を確認することができます。ボタンを押すたびに、製品情報1 → 製品情報2 → 表示消去…と変わります。

(PN-S655 の表示例)

```

製品情報1      XXXX/XX/XX XXX  XX:XX:XX
  入力モード    :   PC3 D-SUB
  画面サイズ    :   ワイド
  カラーモード  :   標準
  明るさ        :   15
  音量          :   15
  ID番号        :   0
  型名          :   PN-S655
  製造番号      :
  ステータス    :   XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
LAN
1920x1080 V: 60 Hz H: 66.3 kHz
    
```

```

製品情報2      XXXX/XX/XX XXX  XX:XX:XX
RS-232C/LAN 切換 :   LAN
DHCPクライアント :  使用しない
IPアドレス     :   XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク :  XXX.XXX.XXX.XXX
デフォルトゲートウェイ : XXX.XXX.XXX.XXX
ディスプレイ名 :   XXXXXXXXXXXXX
データポート番号 :  XXXXXX
MACアドレス    :   XX-XX-XX-XX-XX-XX
LAN
1920x1080 V: 60 Hz H: 66.3 kHz
    
```

- 約15秒経過すると、表示は自動的に消えます。
- LANで接続中は **LAN** が表示されます。

基本的な操作

⑧ MODE(カラーモード切換)

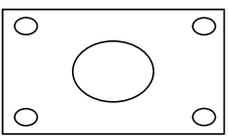
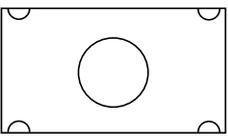
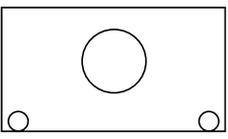
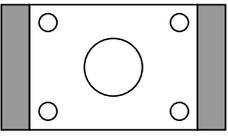
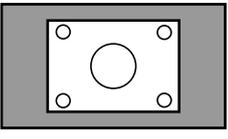
押すたびに以下の順でカラーモードを切り換えます。

標準→あざやか→sRGB→標準…

- ・「sRGB」は、PC系入力時のみ。
sRGBとは、IEC (International Electrotechnical Commission) が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表現になります。

■ 画面サイズ切換について

入力信号によっては、画面サイズを切り換えても表示が変わらない場合があります。

ワイド		PC系入力時	画面いっぱいに映します。
		AV系入力時	縦横比 4:3 の映像を画面いっぱいに映します。
ズーム 1		PC系入力時	縦横比 4:3 の映像を縦横比を変えずに画面にすきまなく拡大します。映像の端が表示されないことがあります。
		AV系入力時	
ズーム 2		PC系入力時	ズーム 1 のサイズで字幕が切れる場合などにお使いください。
		AV系入力時	
ノーマル		PC系入力時	入力信号の縦横比を変えずに、画面いっぱいに映します。
		AV系入力時	縦横比 4:3 の映像をそのまま映します。
Dot by Dot		PC系入力時	接続したコンピュータからの入力信号上の各ドットを、画面の各ドットに対応させて表示します。(※)
		AV系入力時	入力信号の解像度ごとのパネル画像数で表示します。

※：画面解像度が 1600 × 1200、1920 × 1200 の場合、「Dot by Dot」を選んでも「ノーマル」で表示されます。

ご参考

- ・営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切換機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ・エンラージ時は、画面サイズが「ワイド」に固定されます。
- ・2画面表示時は、画面サイズを変えることはできません。
- ・オリジナル映像（外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像）の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ・ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- ・市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- ・オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が残る場合があります。

各種設定メニュー

メニューの基本操作

映像・音声などの調整や各種機能の設定をすることができます。ここではメニューの使いかたについて説明します。各項目の詳細は、6～8ページをご覧ください。

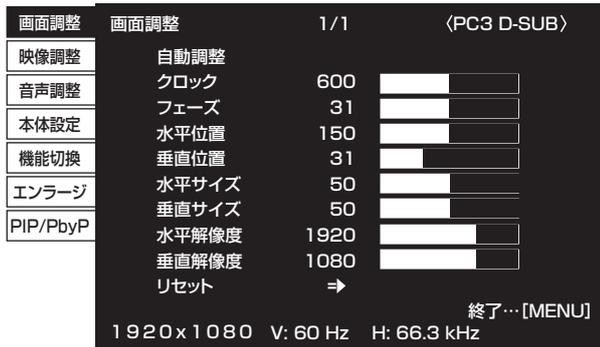
！ご注意

- メニューなどの表示中に、主電源スイッチを「切」にしないでください。設定内容が初期化される場合があります。

■ 操作例

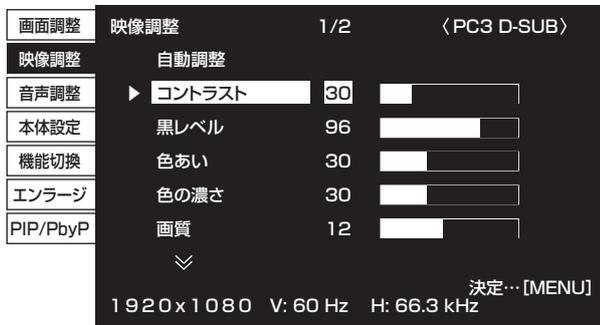
(映像調整メニューの「コントラスト」を調整する。)

1. **MENU** を押し、メニュー画面を表示する。



2. **▲** **▼** で「映像調整」を選び、**▶** を押す。
映像調整メニューが表示されます。

3. **▲** **▼** で設定項目（「コントラスト」）を選択する。



4. **◀** **▶** で設定を調整する。



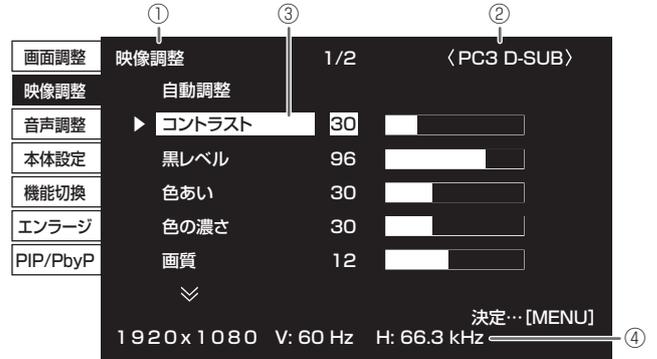
「**⇒**」のある項目は、**▶** を押したあと、設定を行い **MENU** を押します。

5. **MENU** を 2 回押し、メニュー画面を閉じる。

ご参考

- メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。
- 約 15 秒間何も操作しないと、メニュー画面は自動的に閉じます。(「日付・時刻設定」、「スケジュール」、「LAN 設定」は約 4 分)

■ メニューの見かた



- ① メニュー名
- ② 入力モード
- ③ 選択中の項目 (ハイライト表示)
- ④ 入力信号の画面解像度など

ご参考

- 選択できない項目 (現在の入力信号で動作しない機能など) は灰色で表示されます。

メニュー項目の詳細

メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

■ 画面調整

自動調整 (PC3/PC4)

現在入力されている映像信号を使って、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」を自動的に調整します。

を押すと実行されます。PC3 入力端子や PC4 入力端子を使ってコンピュータの画面を初めて表示させるときや、そのコンピュータの設定を変更した後は、自動調整を行ってください。(11 ページ)

クロック (PC3/PC4)

該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。調整用パターン (11 ページ) を利用するときは、調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整してください。

フェーズ (PC3/PC4)

該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。細かな文字などを出したときにコントラストがつかなくなったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。調整用パターン (11 ページ) を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。

※「フェーズ」の調整は、「クロック」を正しく調整したあと行ってください。

水平位置

映像の左右の位置を調整します。

垂直位置

映像の上下の位置を調整します。

水平サイズ

映像の左右の大きさを調整します。

垂直サイズ

映像の上下の大きさを調整します。

水平解像度 (PC3/PC4)

入力信号の解像度が正しく認識されない場合、正しい水平解像度を設定します。(信号によっては、調整できない場合があります。)

垂直解像度 (PC3/PC4)

入力信号の解像度が正しく認識されない場合、正しい垂直解像度を設定します。(信号によっては、調整できない場合があります。)

リセット

画面調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。「する」を選び、を押してください。

■ 映像調整

自動調整 (PC3/PC4)

現在入力されている映像信号を使って、「コントラスト」「黒レベル」を自動的に調整します。

を押すと実行されます。

コントラスト

映像の明るさを調整します。

黒レベル

映像信号の全体的な明るさを調整します。

色あい

肌色を調整します。+方向で緑色に、-方向でマゼンタ色になる方向に色相を調整します。

色の濃さ

色の濃さを調整します。

画質

画像のシャープさを調整します。

詳細設定 (AV 系入力時)

より細かな調整ができます。(10 ページ)

カラーモード

画面のカラーモードを切り換えます。リモコンで切り換えることもできます。(4 ページ)

※「sRGB」は PC 系入力時のみ。詳細は4ページをご覧ください。

色温度

調整しない 入力信号レベルをそのまま表示します。「明るさ」が最大するとき、輝度が最大になります。(PC1/PC2 のみ)

プリセット 「プリセット」で色温度を選びます。

ユーザー設定... 「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」をそれぞれ調整します。

プリセット

「色温度」が「プリセット」のとき、色温度を選びます。設定値は目安です。画面の色温度は経年により変わります。一定の色温度を維持するものではありません。

赤色コントラスト

「色温度」が「ユーザー設定」のとき、赤成分を調整します。

緑色コントラスト

「色温度」が「ユーザー設定」のとき、緑成分を調整します。

青色コントラスト

「色温度」が「ユーザー設定」のとき、青成分を調整します。

プリセット値コピー

「プリセット」に設定されている値を「ユーザー設定」にコピーします。

「する」を選び、を押してください。

ガンマ

ガンマ値を選択します。

リセット

映像調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。「する」を選び、を押してください。

■ 音声調整

高音

高音の音量を調整します。

低音

低音の音量を調整します。

バランス

音声の左右のバランスを調整します。

リセット

音声調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。「する」を選び、を押してください。

■ 本体設定

OSD 画面水平位置

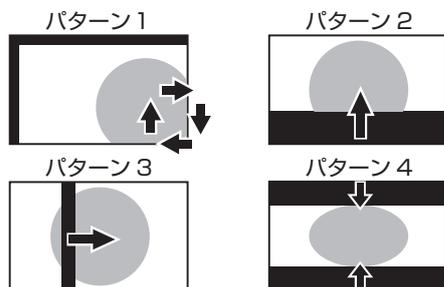
メニュー画面の水平表示位置を調整します。

OSD 画面垂直位置

メニュー画面の垂直表示位置を調整します。

スクリーンモーション

画面を動かすことで残像現象を起こりにくくします。
 パターン1画面全体が上下左右に動きます。
 パターン2黒画面が画面下から広がり、画面下に縮みます。
 パターン3黒色のバーが画面左から右に動きます。
 パターン4画面の上下から黒画面が表示され、表示画像が中央へ圧縮されていきます。



モーション設定 1

スクリーンモーションが動作するまでの時間（動作間隔）を設定します。

モーション設定 2

スクリーンモーションが動作している（画面が動いている）時間を設定します。

言語選択

メニュー画面の表示言語を設定します。

HDMI オートワイド

「する」にすると、AV2 入力端子から入力される映像信号に含まれる画面サイズ制御信号に合わせて自動的に画面サイズを変えます。

映像反転

画面を反転して表示させます。

パワーオンディレイ

電源を入れてから画面が表示されるまでの時間を遅らせることができます。60 秒まで 1 秒単位で設定します。この機能が動作している時は電源ランプがオレンジ色で点滅（約 1 秒間隔）します。0 に設定すると無効になります。

スタンバイモード

「スタンダード」にすると電源待機状態からの起動時間が短くなります。ただし、電源待機時の消費電力が増えます。「ローパワー」にすると電源待機時の消費電力を減らすことができます。ただし、電源待機状態からの起動時間が長くなります。また、一部の RS-232C コマンドが電源待機状態で使えなくなります。（17 ページ）

RS-232C/LAN 切換

コンピュータから本機を制御するときの方法を選びます。

RS-232C/LAN コマンド

RS-232C コマンドの返り値について設定します。通常は、変更する必要がありません。「標準」でお使いください。
 標準 返り値の終端コードが CR + LF。
 モード 1 返り値の終端コードが CR のみ。
 モード 2 返り値が 4 桁に固定され、終端コードが CR のみ。返り値が 1～3 桁の場合、左側に半角スペースが付加されます。

ID 番号設定

RS-232C で複数のセットを数珠つなぎして制御する（14 ページ）ときに使用する、セット固有の番号を設定します。実際に ID 番号として機能するのは 1～255 です。0 を設定すると ID 番号を設定していない状態と認識されます。

LAN 設定

コンピュータから LAN 経由で本機を制御するための設定を行います。（22 ページ）

■ 機能切換

日付・時刻設定

日時を設定します。  で項目を移動し、  で数値を変更します。

時刻は 24 時間制で設定してください。

スケジュール（10 ページ）

指定の時刻に電源を入/切することができます。

端子設定

DVI 端子選択 使用する入力モードを選びます。
 BNC 端子選択 使用する入力モードを選びます。
 HDMI 端子選択 ... 使用する入力モードを選びます。
 HDMI 音声選択 ... PC2/AV2 モードで音声を入力する端子を選びます。

QS 駆動

「する」に設定すると、スポーツ番組など、動きの早い映像がくっきりと、より見やすくなります。

音声出力

PC/AV 音声出力端子から出力される音量について設定します。
 可変 音量調整で調整できます。
 固定 固定します。

各種設定メニュー

入力解像度 (PC3/PC4)

PC3/PC4 入力端子に接続したコンピュータの解像度が以下の場合、解像度に合わせて選びます。

480 ライン 自動、640x480、848x480

768 ライン 自動、1024x768、1280x768、1360x768

1050 ライン ... 1400x1050、1680x1050

スキャンモード (AV 系入力時)

AV モード入力時のスキャンモードを設定します。

モード 1 ... オーバースキャンで表示します。

モード 2 ... アンダースキャンで表示します。

モード 3 ... 入力信号が 1080i/p のときのみアンダースキャンで表示します。

※モード 1 でも、入力信号が 1080i/p で画面サイズが Dot by Dot の場合は、アンダースキャンで表示します。

セルフアジャスト

PC3/PC4 で自動的に画面調整を行うかどうか設定します。「する」の場合、解像度が 800 × 600 以上の画面で入力信号のタイミングが変化したときなどに自動で画面調整を行います。調整時は画面に「自動調整中です」と表示されます。入力信号によっては、正しく調整できない場合があります。その場合は、「しない」に設定してください。(画面は手動で調整してください。)

パワーマネージメント

PC 画面表示時に、無信号状態で入力信号待機状態に切り換えるかどうか設定します。

自動入力切替

自動入力切替をするかどうか設定します。「する」にすると、現在選択している入力モードが無信号になったとき、映像信号が入力されている別の入力モードへ自動的に変わります。複数の入力モードに映像信号がある場合、切り換えは下記の順に優先されます。(接続機器により切り換えに 15 秒以上かかる場合があります。また、接続機器や映像信号によっては入力信号が正しく検知できず、優先順が変わる場合があります。)

PC1、PC2、PC3、PC4、AV1、AV2、AV3、AV4、AV5

■ エンラージ (PC 系入力時)

拡大倍率 (水平)

エンラージ時の長辺方向の画面分割数 (ディスプレイ設置台数) を設定します。(9 ページ)

拡大倍率 (垂直)

エンラージ時の短辺方向の画面分割数 (ディスプレイ設置台数) を設定します。(9 ページ)

拡大位置 (水平) / 拡大位置 (垂直)

エンラージ時、分割された画面のどの部分を表示させるかを設定します。(9 ページ)

額縁幅 (水平) / 額縁幅 (垂直)

エンラージ機能使用時に、ディスプレイの額縁の幅を設定します。

水平位置

エンラージ画面の左右の位置を調整します。

垂直位置

エンラージ画面の上下の位置を調整します。

■ PIP/PbyP

PIP モード

表示のしかたを設定します。

しない 1 画面で表示します。

PIP メイン画面内にサブ画面を表示します。

PbyP メイン画面とサブ画面を並べて表示します。

PbyP2 長辺方向が 1280 ピクセルのメイン画面とサブ画面を並べて表示します。

PIP サブ画面サイズ

PIP モードのとき、サブ画面の大きさを設定します。

PIP サブ画面水平位置

PIP モードのとき、サブ画面の水平位置を調整します。

PIP サブ画面垂直位置

PIP モードのとき、サブ画面の垂直位置を調整します。

PIP サブ画面透過

PIP モードのとき、サブ画面を透過表示することができます。

サブ画面入力信号

PIP、PbyP、PbyP2 モードのとき、サブ画面の入力信号を切り換えます。

音声選択

PIP、PbyP、PbyP2 モードのときに出力される音声を設定します。

サブ画面解除機能が作動してメイン画面が全画面表示になっている場合は、設定がサブ画面側になっていてもメイン画面側の音声を出力します。

PbyP/PbyP2 メイン画面位置

PbyP、PbyP2 モードのとき、メイン画面の位置を設定します。

PbyP2 サブ画面位置

PbyP2 モードのとき、サブ画面の位置を設定します。

サブ画面解除

PIP、PbyP、PbyP2 モードで、サブ画面の信号が入力されないときの表示方法を設定します。

手動 メイン画面と黒いサブ画面が表示されます。

自動 メイン画面を全画面表示します。

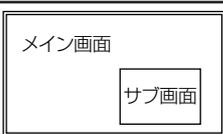
ご参考

- 「色温度」が「調整しない」のとき、「黒レベル」「コントラスト」「色あい」「色の濃さ」「ガンマ」は設定できません。
- 「カラーモード」が「sRGB」、「あざやか」のとき、下記項目は設定できません。
「色温度」、「プリセット」、「赤／緑／青色コントラスト」、「プリセット値コピー」、「ガンマ」

■ 2画面表示について

PC 入力信号の画面と、AV 入力信号の画面を、同時に表示することができます。

PIP/PbyP メニューの「PIP モード」で設定します。

PIP		メイン画面内にサブ画面を表示します。
PbyP		メイン画面とサブ画面を並べて表示します。
PbyP2		長辺方向が 1280 ピクセルのメイン画面とサブ画面を並べて表示します。

※ 現在選択している入力信号がメイン画面になります。

※ PC 入力信号同士や AV 入力信号同士を 2 画面表示することはできません。

※ PC1 と AV2、AV1 と PC2 の組み合わせで 2 画面表示することはできません。

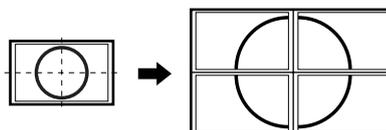
ご参考

- 営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、コンピュータ画面とテレビやビデオ映像などを同時に表示させると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。ご注意ください。
- 2 画面表示時の画面サイズは、1 画面表示時の画面サイズになります。ただし、Dot by Dot の画面は、PIP のメイン画面を除き「ノーマル」になります。
- 2 画面表示時、スクリーンモーション機能は動作しません。
- 2 画面表示時、自動入力切替機能は動作しません。
- 2 画面表示時、エンラージすることはできません。
- 2 画面表示時、「詳細設定」の下記の調整は無効となります。また、調整することもできません。
「3次元ノイズリダクション」、「MPEG ノイズリダクション」、「3次元 Y/C 分離」
- 2 画面表示時、「端子設定」を設定することはできません。

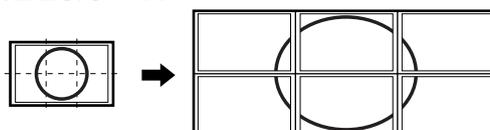
■ エンラージ

- 本機を並べて 1 つの大きな画面として表示させることができます。
- 長辺方向に 5 台まで、短辺方向に 5 台まで並べることができます。
- 各ディスプレイは、分割された映像の各部分を拡大して表示します。

(例) 長辺方向：2台
短辺方向：2台



長辺方向：3台
短辺方向：2台



設定方法

エンラージメニューの「拡大倍率 (水平) / (垂直)」、「拡大位置 (水平) / (垂直)」を設定します。(8 ページ)

1. 長辺方向の設置台数を「拡大倍率 (水平)」に設定する。
2. 短辺方向の設置台数を「拡大倍率 (垂直)」に設定する。
3. 分割された映像のどの部分を表示させるかを「拡大位置 (水平)」と「拡大位置 (垂直)」で設定する。

		拡大倍率 (水平) →				
		1	2	3	4	5
拡大倍率 (垂直) ↓	1	(1,1)	(2,1)	(3,1)	(4,1)	(5,1)
	2	(1,2)	(2,2)	(3,2)	(4,2)	(5,2)
	3	(1,3)	(2,3)	(3,3)	(4,3)	(5,3)
	4	(1,4)	(2,4)	(3,4)	(4,4)	(5,4)
	5	(1,5)	(2,5)	(3,5)	(4,5)	(5,5)

※ カッコ内の数字は、(拡大位置 (水平)、拡大位置 (垂直)) の設定値。

ご参考

- AV 入力信号を拡大表示 (エンラージ) することはできません。
- PC1 で 6 台以上の接続を行うには、別途映像信号の分配器 (市販品) が必要です。
- PC2/PC3/PC4 で接続するときには、別途映像信号の分配器 (市販品) が必要です。
- エンラージ時、スクリーンモーション機能は動作しません。
- エンラージ時、自動入力切替機能は動作しません。
- エンラージを止めるときは、「拡大倍率 (水平) / (垂直)」をそれぞれ 1 に設定します。

■ スケジュールについて

指定の時刻に電源を入/切することができます。
機能切換メニューの「スケジュール」で設定します。(7ページ)

スケジュール		(PC3 D-SUB)					
XXXX/XX/XX XX		XX:XX:XX					
No. ①	電源 ②	曜日 ③		時間 ④		入力 ⑤	
1	--	--	--	--	--	--	
2	--	--	--	--	--	--	
3	--	--	--	--	--	--	
4	--	--	--	--	--	--	
5	--	--	--	--	--	--	
6	--	--	--	--	--	--	
7	--	--	--	--	--	--	
8	--	--	--	--	--	--	

1920x1080 V: 60 Hz H: 66.3 kHz 決定... [MENU]

- ▲▼ でスケジュール番号を選び、▶ を押す。
- スケジュールを設定する。(下記)
▲▶ で項目を移動し、▲▼ で設定を変更します。
- MENU を押す。
スケジュールが有効になります。

①

- : スケジュール有効
- : スケジュール無効

② 電源

入 : 指定時刻に電源を入れます。
切 : 指定時刻に電源を切り、電源待機状態になります。

③ 曜日

スケジュールを実行する日(曜日)を指定します。
1回 : 指定の曜日になると、1回だけスケジュールを実行します。
スケジュールを行う曜日を指定してください。
毎週 : 指定の曜日になると、毎週スケジュールを実行します。
スケジュールを行う曜日を指定してください。
「月曜-金曜」のように期間で指定することもできます。
毎日 : 曜日に関係なく、毎日スケジュールを実行します。

④ 時間

スケジュールを行う時間を指定します。
24時間制で指定します。

⑤ 入力

電源を入れたとき画面に表示する入力モードを指定します。
指定しない場合は、前回電源を切ったときの画面が表示されます。
「PC1/AV1」で表示される入力モードは、「DVI 端子選択」の設定により異なります。
「PC2/AV2」で表示される入力モードは、「HDMI 端子選択」の設定により異なります。
「PC4/AV3」で表示される入力モードは、「BNC 端子選択」の設定により異なります。

! ご注意

- スケジュールを設定したときは、主電源を切らないでください。
- 日付・時刻を正しく設定してください。(7ページ)
日付・時刻が設定されていない場合、スケジュールが動作しません。
- 設定されている日付・時刻が正しいか、定期的に確認してください。
- スケジュールを設定すると、「スタンバイモード」の設定は無効になります。(消費電力は、「スタンダード」設定時と同じになります。)

ご参考

- スケジュールは8件まで登録できます。
- 電源待機状態になったとき、スケジュールが設定されると電源ランプは赤色とオレンジ色の交互に点滅します。
- スケジュールが重なっているときは、スケジュール番号の大きいスケジュールが優先されます。

■ 詳細設定 (6ページ) の項目について (AV系入力時)

肌色補正

肌の色あいを調整します。

3次元ノイズリダクション

ビデオなどの再生映像のノイズを低減します。
設定を強くするほどノイズは少なくなりますが、動画がぼける場合があります。

MPEG ノイズリダクション

デジタル圧縮で発生したブロックノイズを低減します。

3次元 Y/C 分離 (AV5)

3次元 Y/C 分離を行うかどうか設定します。
動きの速い映像で、ドット妨害・クロスカラーが発生している場合、「しない」にすると画質が改善する場合があります。

カラーマネージメント-色相

R (赤) / Y (黄) / G (緑) / C (シアン) / B (青) / M (マゼンダ) の6色で色あいを調整します。

カラーマネージメント-彩度

R (赤) / Y (黄) / G (緑) / C (シアン) / B (青) / M (マゼンダ) の6色で色の鮮やかさを調整します。

カラーマネージメント-明度

R (赤) / Y (黄) / G (緑) / C (シアン) / B (青) / M (マゼンダ) の6色で色の明るさを調整します。

ご参考

- 「肌色補正」が「弱」/「強」の場合、「カラーマネージメント-色相 /- 彩度 /- 明度」は設定できません。

コンピュータ画面の調整について

■ 自動調整

PC3 入力端子や PC4 入力端子を使ってコンピュータの画面を初めて表示するときや、そのコンピュータの設定を変更した後には、画面の自動調整を行ってください。

1. 入力を PC3 または PC4 に切り換え、調整用パターンを表示する。(下記)
2. **MENU** を押し、  で画面調整メニューを表示する。
3.  ボタンを押して、「自動調整」を選択する。
4.  を押す。
数秒後に自動調整が完了します。
5. **MENU** を 2 回押して、メニュー画面を閉じる。

ご参考

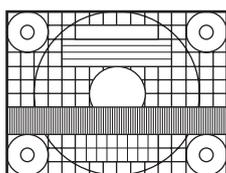
- ・ 1 回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を 2～3 回繰り返してみてください。さらに必要に応じて、手動で微調整を行ってください。

■ 調整時の画面表示

画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。Windows をお使いの場合は、CD-ROM (付属) 内の調整用パターンを利用してください。

調整用パターンの表示

1. CD-ROM (付属) をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「マイコンピュータ」の CD-ROM を開く。
3. 「Adj_tuty.exe」をダブルクリックする。
調整用パターンが表示されます。
自動または手動による調整を行ってください。



4. 調整が終わったら、コンピュータの [Esc] キーを押す。
調整用パターンが消えます。
5. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

ご参考

- ・ 使用するコンピュータの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

初期化（リセット）・機能制限設定

設定を工場出荷時に戻したり、操作を制限することができます。

1. **SIZE** を約 5 秒間押した後、    の順に押す。



2. 項目を選択して、設定を行う。

オールリセット

設定を工場出荷時の状態に戻します。

 を押したあとリセットの方法を選び、**MENU** を押してください。

初期化した後は、主電源スイッチを入れ直してください。
オールリセット 1..... すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

オールリセット 2..... 下記以外の設定を工場出荷時の状態に戻します。
LAN 設定、RS-232C/LAN 切換、ネットワーク、メール、サービス & サポート（7 ページ、26 ～ 29 ページ）

調整ロック

本体やリモコンによるボタン操作を禁止することができます。

しない..... 操作可能

1..... 電源入／切と特別機能の操作のみ可能。
それ以外の操作はできません。

2..... 特別機能の操作のみ可能。
電源入／切も含め、特別機能以外の操作はできません。

RS-232C/LAN

RS-232C や LAN からの制御（13 ページ、22 ページ）を許可するか、禁止するかを切り換えます。

OSD 表示

メニューの表示／非表示を切り換えます。

特別機能画面は非表示に切り換えられません。

LED 点灯

電源ランプを点灯させるか、させないかを切り換えます。

温度異常表示

温度異常時の通知方法を選びます。

しない..... 異常を通知しません。

OSD & LED... 温度異常時、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅し、画面に「モニター温度」のメッセージが表示されます。

LED 温度異常時、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅します。

ステータス表示

ハードウェア異常時の通知方法を選びます。

しない..... 異常を通知しません。

OSD & LED... ハードウェア異常時、電源ランプが赤色に点滅し、画面に「ステータス [xxxx]」のメッセージが表示されます。

LED ハードウェア異常時、電源ランプが赤色に点滅します。

3. **MENU** を押して、通常画面に戻る。

ご参考

- 温度異常とハードウェア異常の両方が発生している場合は、ハードウェア異常の通知が優先されます。

コンピュータで本機を制御する (RS-232C)

コンピュータのRS-232C (COMポート) を利用して、コンピュータから本機を制御することができます。

また、複数台を数珠つなぎすることが可能です。各セットにID番号 (14 ページ) を設定すると、特定のセットのみ入力切替や調整を行ったり、状態を確認したりすることができます。

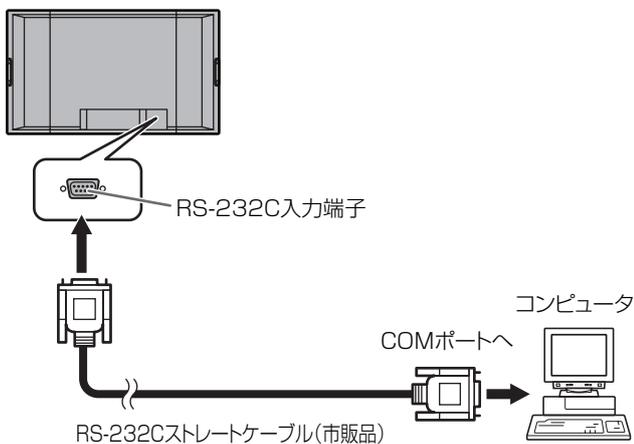
！ご注意

- RS-232C で制御するときは、「RS-232C/LAN 切替」を「RS-232C」に設定してください。
- RS-232C と LAN の制御を同時に行うことはできません。

接続のしかた

■ コンピュータと1対1で接続する

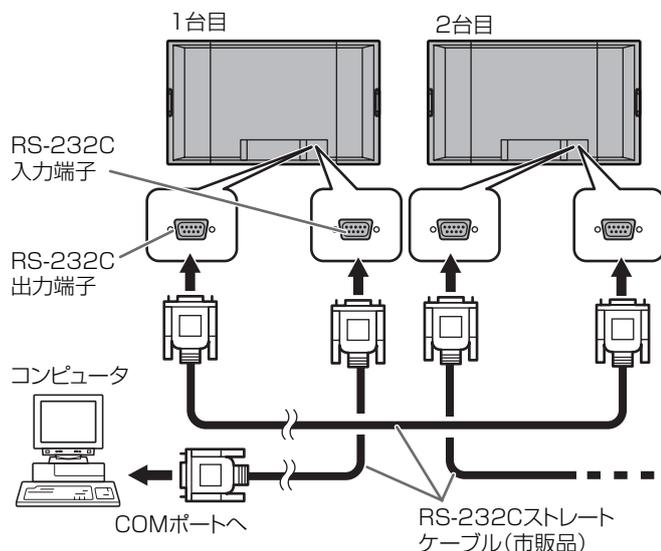
コンピュータのCOMポート (RS-232C コネクタ) と本機のRS-232C 入力端子をRS-232C ケーブル (ストレート) で接続します。



■ 数珠つなぎする… 応用編

コンピュータのCOMポート (RS-232C コネクタ) と本機のRS-232C 入力端子をRS-232C ケーブル (ストレート) で接続します。次に本機のRS-232C 出力端子と、2 台目のRS-232C 入力端子をRS-232C ケーブル (ストレート) で接続します。同様に3 台目以降もRS-232C ケーブル (ストレート) で接続していきます。

最大25 台まで接続することができます。(使用するケーブルの長さや周囲の環境によって異なります。)



通信仕様

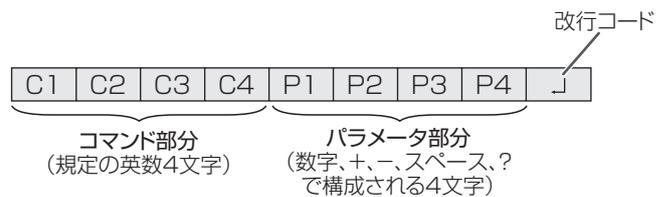
コンピュータ側のRS-232C 通信仕様を次のように設定してください。

ボーレート	9600bps	ストップビット	1ビット
データ長	8ビット	フロー制御	なし
パリティ	なし		

通信手順

■ コマンド

コンピュータから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



[例] VOLM0030
VOLM₀₀₃₀

- ※ パラメータ部分が4文字に足りない場合は、スペース (「」) で4文字になるように調整してください。
(「」は改行コード (ODH、OA_HまたはODH))
× VOLM30
○ VOLM30

負の値を入力する場合は、数値を3桁で指定してください。

[例] ATR-009

MPOS、DATE、SC01 ~ SC08 では、スペースを使用せず、指定の文字数でパラメータを指定してください。

[例] MPOS010097

RS-232C コマンド一覧表 (17 ページ) の中で、「方向」に「R」と入っているコマンドについては、「?」をパラメータにすることにより、現在の設定値を返します。

[例]

VOLM ? ? ? ? ← コンピュータから本機へ
(現在の音量設定値は?)

30 ← 本機からコンピュータへ
(設定値: 30)

※ ID 番号 (14 ページ) が設定されている場合
(下記の場合 ID 番号 = 1)

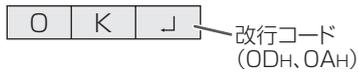
VOLM ? ← コンピュータから本機へ

30001 ← 本機からコンピュータへ

コンピュータで本機を制御する (RS-232C)

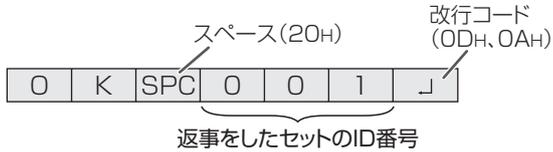
■ レスポンス

コマンドが正しく実行された場合



コマンドの終了後、返信されます。

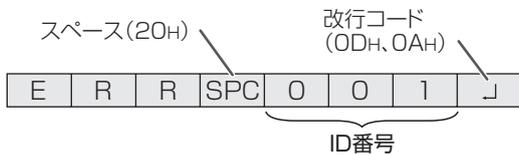
※ ID 番号が設定されている場合



コマンドが実行できなかった場合



※ ID 番号が設定されている場合



ご参考

- 該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できないコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- コンピュータと本機の接続が不完全な場合など、通信自体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。
- 指定の ID 番号のセットがない場合には、返信がありません。(例:ID 番号「2」のセットがないときに、「IDSL0002」を実行した。)
- 「RS-232C/LAN コマンド」が「標準」以外するとき、返信の改行コードは ODH のみとなります。

コマンドの実行に時間がかかっている場合



下記コマンドの場合、戻り値として「WAIT」が返ってきます。この場合、しばらく待つと戻り値が返ってきます。戻り値が返ってくるまでは、コマンドを送信しないでください。

「WAIT」には ID 番号は付与されません。

- WAIT が返ってくるコマンド
 - リピーター制御
 - IDSL、IDLK コマンド
 - RSET、INPS、ASNC、WIDE、EMAG、EPOS、PXSL、POWR、AGIN、MWIN、MWIP、MWPP、ESTG、EMHV、EPHV、ESHV コマンド

RS-232C による制御が禁止 (12 ページ) されている場合

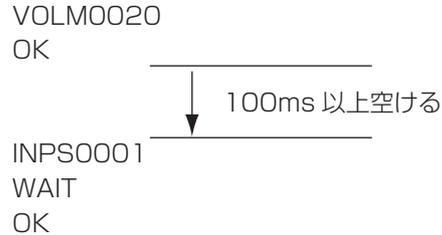


「RS-232C/LAN 切替」が「LAN」に設定されている場合



■ 通信間隔について

- 必ず OK または ERR が返ってきたあとに次のコマンドを送信してください。また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設定するときは、10 秒以上に設定してください。
- コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、100ms 以上の間隔を空けてください。



ご参考

- オールリセットするときは、タイムアウト時間を 30 秒以上に設定してください。
- パワーオンディレイ設定時に電源オンを実行するときは、タイムアウト時間をパワーオンディレイの設定時間+10 秒以上に設定してください。

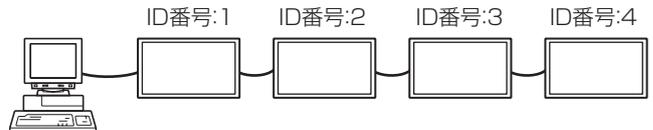
応用編

応用編では、数珠つなぎした複数のセットを制御するためのコマンドについて説明します。基本的な通信部分は 1 対 1 の場合と同じです。

■ ID 番号設定

本機ではセットごとに固有の ID 番号を設定することができます (7 ページ)。これにより、数珠つなぎにした複数台のセットのうち、特定のセットに対して制御を行うことができます。ID 番号の設定は、リモコンのボタンを使ってメニュー画面で設定するか、RS-232C からコマンドで設定することができます。

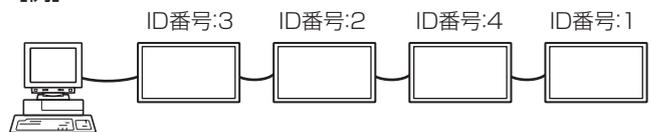
【例】



上のように接続されている場合、「ID 番号 4 のセットの音量を 20 にする」といったことができます。

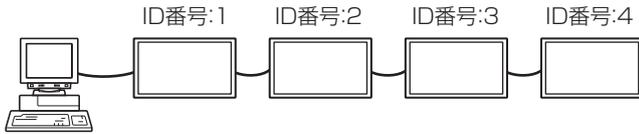
数珠つなぎしたセットに対して ID 番号指定の制御を行う場合、ID 番号が重複しないようにしてください。ID 番号は必ずしもコンピュータから近い方から昇順にする必要はありません。次のような接続でも問題ありません。

【例】



■ ID 制御用のコマンド

この項で説明を行うコマンドの例は、下記の接続と ID 番号設定の場合です。



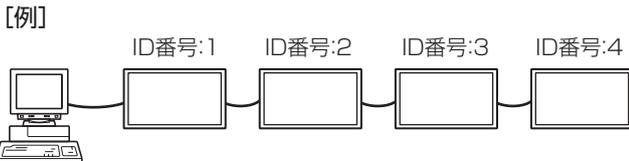
IDST.....このコマンドを受信したセットは、自分の ID 番号をパラメータ部分の値に設定します。

[例]
 IDST0001
 OK_001 ← このセットの ID 番号が 1 番に設定された

ご参考

IDST コマンドをリピーター制御 (16 ページ) で利用すると、パラメータの値から順に自動的に ID を設定させることができます。

例えば、「IDST001 +」とコマンドすると、以下のように自動的に ID 番号が設定されます。



IDST001 + ← ID 設定コマンド (リピーター制御)
 WAIT
 OK_001 ← ID 番号 : 1 からの OK 返答
 OK_002 ← ID 番号 : 2 からの OK 返答
 OK_003 ← ID 番号 : 3 からの OK 返答
 OK_004 ← ID 番号 : 4 からの OK 返答 (終了)

IDSL.....このコマンドの次のコマンドは、このコマンドのパラメータを ID 番号とするセットに向けたものになります。

[例]
 IDSL0002 ← 次のコマンドは ID 番号 : 2 のセットへ
 WAIT ← ID 番号 : 2 のセットを探しています
 OK_002 ← ID 番号 : 2 のセットが見つかりました (ID 番号 : 2 の) 音量を 30 に設定する
 VOLM0030 ←
 WAIT ← 設定中
 OK_002 ← ID 番号 : 2 からの OK 返答
 VOLM0020 ← 音量を 20 に設定する (コンピュータに直接接続されている)
 OK_001 ← ID 番号 : 1 のセットの音量が 20 に設定された (*)
 ※ IDSL コマンドは、直後の 1 回のみ有効

IDLK.....このコマンド以降のコマンドは、このコマンドのパラメータを ID 番号とするセットに向けたものになります。

[例]
 IDLK0002 ← 次のコマンドは ID 番号 : 2 のセットへ
 WAIT ← ID 番号 : 2 のセットを探しています
 OK_002 ← ID 番号 : 2 のセットが見つかりました (ID 番号 : 2 の) 音量を 30 に設定する (*)
 VOLM0030 ←
 WAIT ← 設定中
 OK_002
 VOLM0020 ← (ID 番号 : 2 の) 音量を 20 に設定する (*)
 WAIT
 OK_002
 IDLK0000 ← ID 番号の固定解除
 WAIT ← IDLK を解除しています
 OK_002 ← IDLK の解除終了
 VOLM0010 (コンピュータに直接接続されている)
 OK_001 ← ID 番号 : 1 のセットの音量が 10 に設定された (IDLK が解除されている)
 ※ IDLK コマンドは、固定解除するか、電源が切れるまで有効

IDCK.....現在そのセットに設定されている ID 番号と、されていれば IDLK により指定された ID 番号を画面上に表示します。

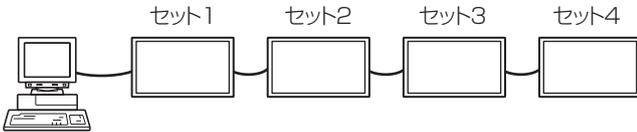
[例]
 (IDLK0002 実行後)
 IDCK0000 ← (引数は意味をもちません) 返り値。これ以外にセットの画面上にも表示されず
 ID : 001 IDLK : 002 ←
 IDCK000 + ← リピーター制御 (リピーター制御でコマンドを使用すると、IDSL および IDLK による ID 指定はキャンセルされます)
 WAIT
 ID : 001 IDLK : 000
 ID : 002 IDLK : 000
 ID : 003 IDLK : 000
 ID : 004 IDLK : 000

コンピュータで本機を制御する (RS-232C)

■ リピーター制御

数珠つなぎになっている複数のセットの設定を一度に変更するための機能を持っています。これを「リピーター制御」と呼びます。リピーター制御は、ID 番号を設定していなくても利用することができます。

[例]



※ 上のように接続されている場合、「すべてのセットの入力を PC1 DVI-D にする」といったことができます。

■ リピーター制御のコマンド

リピーター制御は、パラメータの 4 文字目に「+」(プラス)をつけることにより行われます。

[例]

```
VOLM030 + ← すべてのセットの音量を 30 に設定する
```

リピーター制御時のレスポンスは、接続されているセットすべてのものが返ります。

特定のセットからの返り値が来たことを判断したい場合などは、各セットに ID 番号を設定しておいてください。

また、接続台数分のレスポンスが返ってこない場合、原因としてそのセットがコマンドを受け取れていないか処理が終了していないことが考えられますので、新しいコマンドは送らないでください。

[例] (4 台接続されていて、ID 番号：1～4 が設定)

```
VOLM030 +
WAIT
OK_001
OK_002
OK_003
OK_004 ← 4 台接続されている場合、4 台目 (いちばん最後) のセットの返信が返ってきた後に新しいコマンドを送信すれば、確実な動作が見込めます
```

リピーター制御は、設定値の読み出しにも使えます。

[例]

```
VOLM ??? +
WAIT
10_001
20_002
30_003
30_004
```

すべてのセットの音量設定値が返信された

ご参考

- ・ ID 指定 (IDSL, IDLK) 中にリピーター制御を行うと、ID 指定はキャンセルされます。

RS-232C コマンド一覧表

コマンド一覧表の見かた

- コマンド： コマンド部分 (13 ページ)
- 方向： W 「パラメータ」をパラメータ部分 (13 ページ) に設定して使用することにより、「制御/返信内容」に書かれたように機能します。
- R パラメータ部分 (13 ページ) に「????」または「LLLL?」または「???+」(リピータ制御時)を使用することにより、「返信」に示す返り値が得られます。
- パラメータ： パラメータ部分 (引数) (13 ページ)
- 返信： レスポンス (返り値)
- ※： ● 「スタンバイモード」の設定にかかわらず、電源待機状態でも使えるコマンド
- 「スタンバイモード」が「スタンダード」のとき、電源待機状態でも使えるコマンド (「ローパワー」のときの電源待機状態では使えません。)
- 電源待機状態では使えないコマンド

電源制御/入力切換

機能	コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※	
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行	●	
			1		電源待機状態から復帰		
		R		0			電源待機状態
				1			通常動作状態
		2		信号入力待機状態			
入力切換	INPS	W	0		トグルで入力切換。DVI 端子選択 / BNC 端子選択 / HDMI 端子選択で非選択の端子は選ばません。	○	
			1		PC1 DVI-D DVI 端子選択 が「AV1 DVI-D」の場合はエラー (ERR)。		
			2		PC3 D-SUB		
			3		AV3 コンポーネント BNC 端子選択 が「PC4 RGB」の場合はエラー (ERR)。		
			4		AV5 ビデオ		
			6		PC4 RGB BNC 端子選択 が「AV3 コンポーネント」の場合はエラー (ERR)。		
			7		AV1 DVI-D DVI 端子選択 が「PC1 DVI-D」の場合はエラー (ERR)。		
			8		AV4 S ビデオ		
			9		AV2 HDMI HDMI 端子選択 が「PC2 HDMI」の場合はエラー (ERR)。		
			10		PC2 HDMI HDMI 端子選択 が「AV2 HDMI」の場合はエラー (ERR)。		
		R		1		PC1 DVI-D	●
				2		PC3 D-SUB	
				3		AV3 コンポーネント	
				4		AV5 ビデオ	
				6		PC4 RGB	
				7		AV1 DVI-D	
				8		AV4 S ビデオ	
				9		AV2 HDMI	
		10		PC2 HDMI			

画面調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※	
自動調整	ASNC	W	1		PC3, PC4 のみ。	—	
クロック	CLCK	WR	0 ~ 1200	0 ~ 1200	PC3, PC4 のみ。信号により異なります。		
フェーズ	PHSE	WR	0 ~ 63	0 ~ 63	PC3, PC4 のみ。		
位置調整	長辺方向位置	HPOS	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		PC3/PC4 は 0 ~ 800。信号により異なります。
	短辺方向位置	VPOS	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		PC3/PC4 は 0 ~ 200。信号により異なります。
サイズ	長辺方向位置	HSIZ	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		
	短辺方向位置	VSIZ	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		
解像度	水平解像度	HRES	WR	300 ~ 1920	300 ~ 1920		PC3, PC4 のみ。パラメータは偶数値のみ有効。
	垂直解像度	VRES	WR	200 ~ 1200	200 ~ 1200		信号により異なります。
調整リセット	ARST	W	1				

コンピュータで本機を制御する (RS-232C)

映像調整メニュー

機能		コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※
自動調整		AGIN	W	1		PC3, PC4のみ。	—
コントラスト		CONT	WR	0 ~ 60	0 ~ 60	PC3/PC4は0 ~ 127。	○
黒レベル		BLVL	WR	0 ~ 60	0 ~ 60	PC3/PC4は0 ~ 127。	
色あい		TINT	WR	0 ~ 60	0 ~ 60		
色の濃さ		COLR	WR	0 ~ 60	0 ~ 60		
画質		SHRP	WR	0 ~ 24	0 ~ 24		
詳細設定 (AV系入力時のみ)	肌色補正	FLES	WR	0 ~ 2	0 ~ 2	0:しない 1:弱 2:強	○
	3次元ノイズリダクション	TDNR	WR	0 ~ 2	0 ~ 2	0:しない 1:弱 2:強	
	MPEGノイズリダクション	MPNR	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0:しない 1:する	
	3次元Y/C分離	YCSP	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0:しない 1:する (AV5のみ)	○
	カラーマネージメント-色相	CMHR	WR	-10 ~ 10	-10 ~ 10	R	
		CMHY				Y	
		CMHG				G	
		CMHC				C	
		CMHB				B	
		CMHM				M	
	CRST	W	1		色相リセット		
	カラーマネージメント-彩度	CMSR	WR	-10 ~ 10	-10 ~ 10	R	
		CMSY				Y	
		CMSG				G	
		CMSC				C	
		CMSB				B	
		CMSM				M	
	CRST	W	2		彩度リセット		
	カラーマネージメント-明度	CMVR	WR	-10 ~ 10	-10 ~ 10	R	
CMVY		Y					
CMVG		G					
CMVC		C					
CMVB		B					
CMVM		M					
CRST	W	3		明度リセット			
カラーモード		BMOD	WR	0	0	標準	○
				2	2	あざやか	
				3	3	sRGB (PC系入力時のみ)	
色温度	調整しない	CTMP	WR	0	0	PC1/PC2のみ。	○
	プリセット			1 ~ 15	1 ~ 15	1:約3000K ~ 15:約10000K (500Kステップ)	
	ユーザー設定			99	99		
	赤色コントラスト	CRTR	WR	0 ~ 512	0 ~ 512	CTMPが99に設定されていないときはエラー (ERR)。	
	緑色コントラスト	CRTG	WR	0 ~ 512	0 ~ 512		
青色コントラスト	CRTB	WR	0 ~ 512	0 ~ 512			
プリセット値コピー		CPTU	W	0		プリセット値をユーザー設定にコピーする	—
ガンマ		GAMM	WR	0 ~ 2	0 ~ 2	0:1.8、1:2.2、2:2.4	○
調整リセット		ARST	W	2			—

音声調整メニュー

機能		コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※
高音		AUTR	WR	-10 ~ 10	-10 ~ 10		○
低音		AUBS	WR	-10 ~ 10	-10 ~ 10		
バランス		AUBL	WR	-10 ~ 10	-10 ~ 10		
調整リセット		ARST	W	3			—

コンピュータで本機を制御する (RS-232C)

本体設定メニュー

機能	コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※
OSD 画面水平位置	OSDH	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		○
OSD 画面垂直位置	OSDV	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		○
スクリーンモーション	SCSV	WR	0 ~ 4	0 ~ 4	0: しない、1 ~ 4: パターン 1 ~ 4	○
モーション設定 1	MTIM	WR	0 ~ 20	0 ~ 20		○
モーション設定 2	パターン 1	MINT	10 ~ 990	10 ~ 990	10 秒単位	○
	パターン 2 ~ 4	MINT	5 ~ 20	5 ~ 20	1 秒単位	
言語選択	LANG	WR	14	14	英語	○
			1	1	ドイツ語	
			2	2	フランス語	
			3	3	イタリア語	
			4	4	スペイン語	
			5	5	ロシア語	
6	6	日本語				
HDMI オートワイド	HDAW	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: しない 1: する	○
映像反転	PFIL	WR	0 ~ 3	0 ~ 3	0: 標準, 1: 左右反転, 2: 上下反転, 3: 上下左右	○
パワーオンディレイ	PWOD	WR	0	0	しない	○
			1 ~ 60	1 ~ 60	する	
スタンバイモード	STBM	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: スタンダード 1: ローパワー	○
RS-232C/LAN 切替	CTLS	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: RS-232C 1: LAN	○
RS-232C/LAN コマンド	CMDM	WR	0 ~ 2	0 ~ 2	0: 標準 1: モード 1 2: モード 2	○
ID 番号制御	ID 番号設定	IDST	W	0 ~ 255	ID 番号の設定 (0 は ID 番号の設定無し状態。)	●
				0 ~ 255	ID 番号の設定番号を返す	
	対象 ID 設定 (1 回)	IDSL	W	1 ~ 255	ID を指定してコマンドを実行させる このコマンドの次に来るコマンドだけを対象の ID に対して命令	
				0	ID 番号が設定されていた場合、それをクリアする	
	対象 ID 設定 (複数回)	IDLK	W	1 ~ 255	ID を指定してコマンドを実行させる このコマンドの次以降に来るコマンドは全て対象の ID に対しての命令になる	
0				ID 番号が設定されていた場合、それをクリアする		
ID チェック	IDCK	W	0	ID : xxx IDLK : yyy	自分自身の ID 番号と選択中の ID 番号を画面上に表示する	○

機能切替メニュー

機能	コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※	
日付・時刻設定	DATE	WR	AABBCCDDEE	AABBCCDDEE	AA: 年, BB: 月, CC: 日, DD: 時, EE: 分	○	
スケジュール	SC01 ~ SC08	WR	ABCDEFGHIJGH	ABCDEFGHIJGH	・指定 No. のスケジュール A: スケジュール有効/無効...0= 無効, 1= 有効 B: 電源...0= 切, 1= 入 C: 曜日 1...0= 1 回のみ, 1= 毎週, 2= 毎日 D: 曜日 2...0= 日曜, 1= 月曜 ~ 6= 土曜, 9 = 曜日指定なし E: 曜日 3...0= 日曜, 1= 月曜 ~ 6= 土曜, 9 = 曜日指定なし F: 時間...00 ~ 23 G: 分...00 ~ 59 H: 入力...0= 指定なし, 1 = PC1/AV1, 2 = PC3, 3 = PC4/AV3, 4 = AV5, 5 = AV4, 6 = PC2/AV2	○	
端子設定	DVI 端子選択	DVSL	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: PC1 DVI-D, 1: AV1 DVI-D	○
	BNC 端子選択	BNSL	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: PC4 RGB, 1: AV3 コンポーネント	○
	HDMI 端子選択	HDSL	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: PC2 HDMI, 1: AV2 HDMI	○
	HDMI 音声選択	HMDA	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: HDMI 端子, 1: 音声端子	○
QS 駆動 (PC)	QSPC	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: しない, 1: する	○	
QS 駆動 (AV)	QSAV	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: しない, 1: する	○	
音声出力	AOUT	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: 可変, 1: 固定	○	
入力解像度 (PC)	解像度チェック	PXSL	WR	1	1	垂直 768) 1360 x 768	-
				2	2	垂直 768) 1280 x 768	
				3	3	垂直 768) 1024 x 768	
				5	5	垂直 480) 848 x 480	
				6	6	垂直 480) 640 x 480	
				7	7	垂直 1050) 1680 x 1050	
				8	8	垂直 1050) 1400 x 1050	
				9	9	垂直 768) 自動	
10	10	垂直 480) 自動					
入力解像度 (AV)	RESO	R			480i, 480p, 1080i, 720p, 1080p, VGA など	-	
スキャンモード	SCAN	WR	0 ~ 2	0 ~ 2	0: モード 1, 1: モード 2, 2: モード 3 (AV 系入力時のみ)	○	
セルフアジャスト	AADJ	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: しない, 1: する	○	
パワーマネジメント	PMNG	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: しない, 1: する	○	
自動入力切替	AINC	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0: しない, 1: する	○	

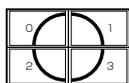
コンピュータで本機を制御する (RS-232C)

エンラージメニュー (PC 系入力時のみ)

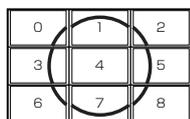
機能		コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※
拡大倍率		EMAG	WR	0~4	0~4	0: オフ, 1: 2x2, 2: 3x3, 3: 4x4, 4: 5x5	-
		EMHV	WR	11~55	11~55	1x1 (オフ) - 5x5 (m x n を mn で指定。m は長辺方向、n は短辺方向の台数。)	
額縁	短辺の幅	BEZH	WR	0~100	0~100		
	長辺の幅	BEZV	WR	0~100	0~100		
表示位置 (M x N)		EPHV	WR	11~55	11~55	拡大位置水平 / 垂直の順に指定 (9 ページ)	
表示位置 (2 x 2)		EPOS	WR	0~3	0~3	下記	
表示位置 (3 x 3)		EPOS	WR	0~8	0~8		
表示位置 (4 x 4)		EPOS	WR	0~15	0~15		
表示位置 (5 x 5)		EPOS	WR	0~24	0~24		
エンラージ画面位置調整	長辺方向	EPSH	WR	-999~999	-999~999		
	短辺方向	EPSV	WR	-999~999	-999~999		
倍率・表示位置一括指定		ESTG	WR	XXYY	XXYY	XX: 拡大倍率 (EMAG と同じ)。YY: 表示位置 (EPOS と同じ)。	
		ESHV	WR	XXYY	XXYY	XX: 拡大倍率 (EMHV と同じ)。YY: 表示位置 (EPHV と同じ)。	

・表示位置 (EPOS) について

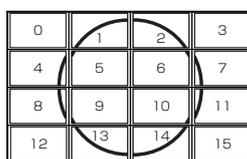
2 x 2



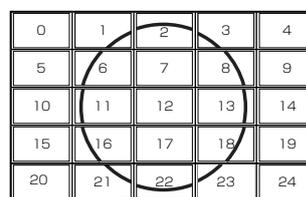
3 x 3



4 x 4



5 x 5



PIP/PbyP メニュー

機能		コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※
PIP モード		MWIN	WR	0~3	0~3	0: しない, 1: PIP, 2: PbyP, 3: PbyP2	○
PIP サブ画面サイズ		MPSZ	WR	1~12	1~12		○
PIP サブ画面位置	長辺方向	MHPS	W	0-100			○
			R		0~100		○
	短辺方向	MVPS	W	0~100			○
			R		0~100		○
PIP サブ画面位置一括指定		MPOS	W	0~100 0~100		MPOSxxxxyyy の形式で指定する (xxx: 長辺方向 .yyy: 短辺方向)。	○
			R		0~100 0~100	(xxx,yyy) の形式で返信。(xxx: 長辺方向 .yyy: 短辺方向)。	○
PIP サブ画面透過		MWBL	WR	0~15	0~15		○
サブ画面入力信号		MWIP	WR	1	1	PC1 DVI-D	○
				2	2	PC3 D-SUB	
				3	3	AV3 コンポーネント	
				4	4	AV5 ビデオ	
				6	6	PC4 RGB	
				7	7	AV1 DVI-D	
				8	8	AV4 S ビデオ	
				9	9	AV2 HDMI	
				10	10	PC2 HDMI	
音声選択				MWAD	WR	1~2	
PbyP/PbyP2 メイン画面位置		MWPP	WR	0~1	0~1	0: ポジション 1, 1: ポジション 2	○
PbyP2 サブ画面位置		MW2P	WR	0~2	0~2	0: ポジション 1, 1: ポジション 2, 2: ポジション 3	○
サブ画面解除		MOFF	WR	0~1	0~1	0: 手動, 1: 自動	○

初期化・機能制限設定 (特別機能) メニュー

機能		コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※
オールリセット		RSET	W	0~1		0: オールリセット 1, 1: オールリセット 2	-
調整ロック		ALCK	WR	0~2	0~2	0: しない	○
OSD 表示		LOSD	WR	0~1	0~1	0: する, 1: しない	○
LED 点灯		OFLD	WR	0~1	0~1	0: する, 1: しない	○
温度異常表示		TALT	WR	0~2	0~2	0: しない, 1: OSD & LED, 2: LED	○
ステータス表示		SALT	WR	0~2	0~2	0: しない, 1: OSD & LED, 2: LED	○

その他

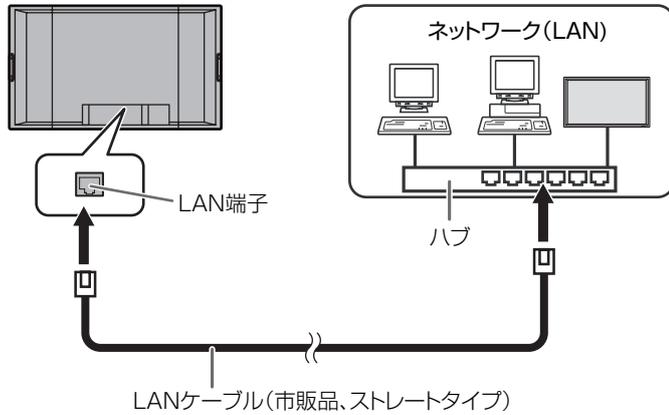
機能	コマンド	方向	パラメータ	返信	制御 / 返信内容	※
画面サイズ (PC)	WIDE	WR	1~5	1~5	1:ワイド、2:ノーマル、3:Dot by Dot、4:ズーム1、5:ズーム2	○
画面サイズ (AV)	WIDE	WR	1~5	1~5	1:ワイド、2:ズーム1、3:ズーム2、4:ノーマル、5:Dot by Dot	○
音量調整	VOLM	WR	0~31	0~31		○
消音	MUTE	WR	0~1	0~1	0:しない、1:する	-
製品情報	型名	INF1	R		値	
	製造番号	SRNO	R		値	●
明るさ	VLMP	WR	0~31	0~31		○
温度異常監視	DSTA	R		0	内部温度正常	●
				1	内部温度異常 (電源待機状態)	
				2	内部温度異常 (現在は正常だが、使用中に温度異常が発生)	
				3	内部温度異常 (バックライト輝度低下状態)	
				4	温度センサー異常	
温度取得	ERRT	R		値	温度センサー1~3の温度を、下記の形式で返信する。 [センサー1].[センサー2].[センサー3] 返信が「126」のときは、温度センサー異常。	●
最後の電源待機状態理由	STCA	W	0		内容初期化	●
		R	0	初期化以降電源待機状態無し		
			1	電源ボタンで電源待機状態		
			2	主電源スイッチで主電源「切」		
			3	RS-232C/LANで電源待機状態		
			4	無信号で入力信号待機状態 (VESA DPMS/DMPM含む)		
			6	温度異常で電源待機状態		
			8	スケジュールで電源待機状態		

コンピュータで本機を制御する (LAN)

本機をネットワークに接続し、ネットワーク上のコンピュータから本機を制御することができます。

また、本機の異常を電子メールで通知することなどができます。

接続は、市販のLAN ケーブル (UTP ケーブル、カテゴリー 5、ストレートタイプ) を使用します。



ご参考

- あらかじめ「ネットワークに接続するための設定をする」に従って、本機に IP アドレスなどを設定しておく必要があります。(右記)
- コンピュータに Internet Explorer (バージョン 6.0 以降) がインストールされている必要があります。
- LAN で制御するときは、「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定してください。(7 ページ)
- RS-232C と LAN の制御を同時に行うことはできません。

ネットワークに接続するための設定をする

本機の IP アドレスやサブネットマスクなどを、ご使用のネットワークに合わせて設定します。

本機で行う方法とコンピュータ接続して行う方法があります。設定はネットワークにより異なりますので、ネットワーク管理者にご相談ください。

■ 本機で設定する場合

本体設定メニューの「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定したあと、「LAN 設定」で設定します。(7 ページ) 各項目を設定したあと、「設定」を選び **MENU** を押してください。

DHCP クライアント

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合は「使用する」にします。

アドレスを手動で設定する場合は「使用しない」にします。

IP アドレス

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、IP アドレスを設定します。

◀ ▶ で項目を移動し、▲ ▼ で数値を変更します。

サブネットマスク

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、サブネットマスクを設定します。

◀ ▶ で項目を移動し、▲ ▼ で数値を変更します。

デフォルトゲートウェイ

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、デフォルトゲートウェイを設定します。

デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

◀ ▶ で項目を移動し、▲ ▼ で数値を変更します。

リセット

LAN 設定の各項目値を、工場出荷時に戻します。

「する」を選び、**MENU** を押してください。

■ コンピュータで設定する場合

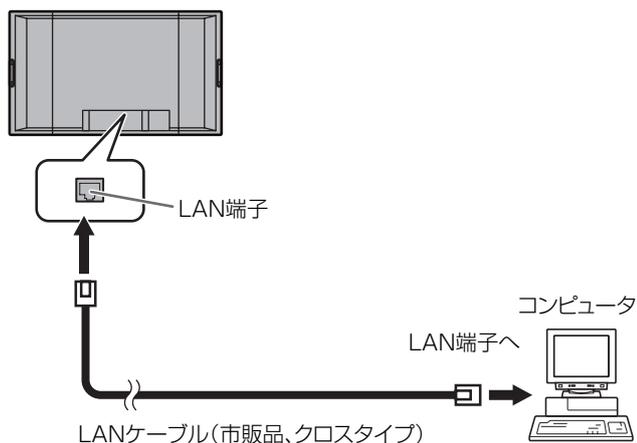
本機とコンピュータを接続し、コンピュータから LAN 設定を行うことができます。

設定の流れ

- ① 本機とコンピュータを接続する
- ② コンピュータの IP アドレスを設定する
- ③ 本機の LAN 設定を設定する

① 本機とコンピュータを接続する

コンピュータと本機の LAN 端子を市販の LAN ケーブル (UTP ケーブル、カテゴリー 5、クロスタイプ) で接続します。



② コンピュータの IP アドレスを設定する

本機の LAN 設定を行うため、コンピュータの設定を一時的に変更します。

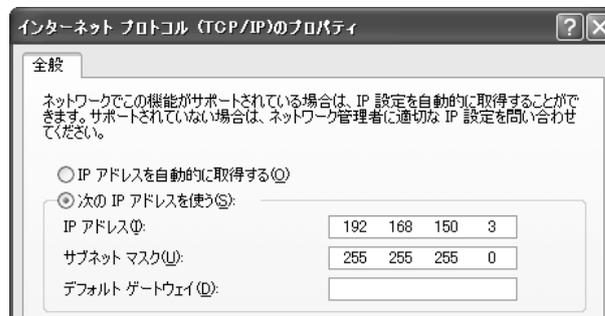
Windows XP を例に説明しています。

1. コンピュータの管理者のアカウントでログオンする。
2. [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする。
3. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、「ネットワーク接続」をクリックする。
クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックしてください。
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、メニュー内の「プロパティ」をクリックする。
5. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」をクリックする。
6. 現在の IP アドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイをメモする。
後で現在の IP アドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

7. 一時的に IP アドレスとサブネットマスクを変更する。

出荷時設定の本機にアクセスするため、以下のように変更します。

- IP アドレス：192.168.150.3
- サブネットマスク：255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ：(何も入力しないでください)



8. [OK] をクリックし、コンピュータを再起動する。

ご参考

- 本機は出荷時、下記のように設定されています。
IP アドレス : 192.168.150.2
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

③ 本機の LAN 設定を設定する

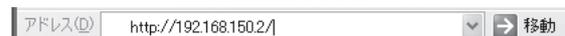
Internet Explorer で本機にアクセスして設定します。

本機の操作

1. 本機の電源を入れる。
2. 本体設定メニューの「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定する。

コンピュータの操作

3. Internet Explorer を起動し、「アドレス」に "http://192.168.150.2/" と入力し「Enter」キーを押す。



ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

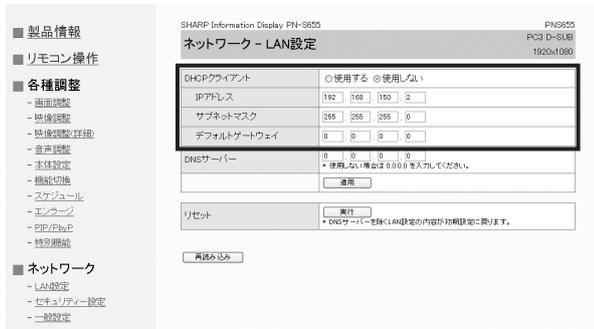
4. ユーザー名とパスワードに何も入力せず [OK] をクリックする。

コンピュータで本機を制御する (LAN)

5. ネットワークの「LAN 設定」をクリックする。



6. 「DHCP クライアント」や「IP アドレス」などを設定する。



DHCP クライアント

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合は「使用する」にします。アドレスを手動で設定する場合は「使用しない」にします。

IP アドレス

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、IP アドレスを設定します。

サブネットマスク

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、サブネットマスクを設定します。

デフォルトゲートウェイ

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、デフォルトゲートウェイを設定します。デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

- 設定を変更したときは、[適用] をクリックする。
- メッセージを確認し、[OK] をクリックする。
- Internet Explorer を終了する。
- コンピュータの IP アドレスを「②コンピュータの IP アドレスを設定する」の手順 6 でメモした値に戻す。
- 本機とコンピュータをネットワークに接続する。

！ご注意

- [OK] をクリックしたあとは、約 10 秒あけてから操作してください。
- リモコン等で操作した場合は、[再読み込み] をクリックしてください。

コンピュータで制御する

■ 基本操作

ネットワーク上のコンピュータの Internet Explorer を使い、本機を制御します。

- コンピュータで Internet Explorer を起動する。
- 「アドレス」に「http://」に続けて本機の IP アドレスと「/」を入力し、「Enter」キーを押す。



ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、セキュリティ設定 (26 ページ) で設定したユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。設定していない場合は、何も入力せず [OK] をクリックしてください。

- 画面左側のメニューをクリックして状態確認画面や各種設定画面を表示し、制御・設定を行う。



- 項目に [適用] がある場合は、設定変更後 [適用] をクリックしてください。

ご参考

- 各項目の詳細は、25 ~ 29 ページをご覧ください。
- 画面が完全に表示される前に [再読み込み] をクリックすると、「サーバーアクセス過多エラー」と表示されます。しばらく経ってから、再度アクセスしてください。
- 本機の電源起動中は操作することができません。
- 「DHCP クライアント」が「使用する」の場合、リモコンの **DISPLAY** を 2 回押して、本機に設定された IP アドレスを確認してください。

■ 製品情報

本機の情報が表示されます。

SHARP Information Display PN-S655
PN-S655

製品情報
PC3 D-SUB
1920x1080

型名	PN-S655
製造番号	
電源	入
日付・時刻	2008/1/1 火曜 00:12:33 * アップセルした時のディスプレイの日期が表示されています。
入力モード	PC3 D-SUB
画面サイズ	ワイド
カラーモード	標準
明るさ	31
音量	15
ID番号	0
ステータス	0000-0000-0000-0000
リンク先URL	
RS-232C/LAN 切換	LAN
DHCPクライアント	使用しぬい
IPアドレス	192.168.150.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
ディスプレイ名	PN-S655
データポート番号	10008
MACアドレス	00-1C-EE-85-C1-74

■ 各種調整

本機の下記メニューで行うのと同じ設定を行うことができます。

- 画面調整 (6 ページ)
- 映像調整 (6 ページ)
- 映像調整 (詳細) (6 ページ)
- 音声調整 (7 ページ)
- 本体設定 (7 ページ)
- 機能切換 (7 ページ)
- スケジュール (10 ページ)
- エンラージ (9 ページ)
- PIP/PbyP (8 ページ)
- 特別機能 (12 ページ)

SHARP Information Display PN-S655
PN-S655

各種調整 - 画面調整
PC3 D-SUB
1920x1080

自動調整	<input type="button" value="実行"/>
クロック	600
フェーズ	35
水平位置	556
垂直位置	22
水平サイズ	50
垂直サイズ	50
水平解像度	11920
垂直解像度	11880

* 各項目の設定を変更した後は、[再読み込み]ボタンをクリックして設定内容を確認してください。

■ リモコン操作

リモコンのボタン (POWER INPUT SIZE など) に対応した操作ができます。(3 ページ)

SHARP Information Display PN-S655
PN-S655

リモコン操作
PC3 D-SUB
1920x1080

電源	<input checked="" type="radio"/> 入 <input type="radio"/> 切
入力モード	PC3 D-SUB
画面サイズ	ワイド
カラーモード	標準
明るさ	31
音量	15
消音	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しぬい

* 各項目の設定を変更した後は、[再読み込み]ボタンをクリックして設定内容を確認してください。

ご参考

- 電源待機状態では電源オンのみ操作することができます。

コンピュータで本機を制御する (LAN)

■ ネットワーク (LAN 設定)

本機をネットワークに接続するときに必要な設定ができます。

SHARP Information Display PN-S655 PMS655
PC3 D-SUB 1920x1080

ネットワーク - LAN設定

DHCPクライアント 使用する 使用しない

IPアドレス 192 168 150 2

サブネットマスク 255 255 255 0

デフォルトゲートウェイ 0 0 0 0

DNSサーバー 0 0 0 0
* 使用しない場合は 0.0.0.0 を入力してください。

リセット
* DNSサーバーを除くLAN設定の内容が初期設定に戻ります。

■ 製品情報
■ リモコン操作
■ 各種調整
- 画面調整
- 映像調整
- 映像調整(詳細)
- 音声調整
- 本体設定
- 機能切換
- スケジュール
- エンラージ
- PiP/PeP
- 特別機能
■ ネットワーク
- LAN設定
- セキュリティ設定
- 一般設定
■ メール
- 発信元設定
- 通知先設定
- 定期送信設定
■ サービス・サポート
- リンク先URL登録
ブラウザ言語 (Browser Language)

DHCP クライアント

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合は「使用する」にします。

アドレスを手動で設定する場合は「使用しない」にします。

IP アドレス

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、IP アドレスを設定します。

サブネットマスク

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、サブネットマスクを設定します。

デフォルトゲートウェイ

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、デフォルトゲートウェイを設定します。

デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

DNS サーバー

DNS サーバーのアドレスを設定します。
使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

リセット

[実行] をクリックすると、DNS サーバーを除く LAN 設定の各項目値を、工場出荷時に戻します。

■ ネットワーク (セキュリティ設定)

セキュリティに関する設定を行うことができます。

SHARP Information Display PN-S655 PMS655
PC3 D-SUB 1920x1080

ネットワーク - セキュリティ設定

ユーザー名
* 半角の英数字以外で入力してください。

新パスワード
* 半角の英数字以外で入力してください。

新パスワード(確認)
* 確認のため同じパスワードをもう一度入力してください。

* ユーザー名とパスワードは、WEBブラウザもしくはTELNET経由でアクセスする場合に使用します。

接続を許可するIPアドレス すべてのIPアドレス 特定のIPアドレスのみ

アクセス許可IPアドレス1
* 使用しない場合は 0.0.0.0 を入力してください。

アクセス許可IPアドレス2
* 使用しない場合は 0.0.0.0 を入力してください。

アクセス許可IPアドレス3
* 使用しない場合は 0.0.0.0 を入力してください。

■ 製品情報
■ リモコン操作
■ 各種調整
- 画面調整
- 映像調整
- 映像調整(詳細)
- 音声調整
- 本体設定
- 機能切換
- スケジュール
- エンラージ
- PiP/PeP
- 特別機能
■ ネットワーク
- LAN設定
- セキュリティ設定
- 一般設定
■ メール
- 発信元設定
- 通知先設定
- 定期送信設定
■ サービス・サポート
- リンク先URL登録
ブラウザ言語 (Browser Language)

ユーザー名 / パスワード

ユーザー名とパスワードを設定して、本機へのアクセスを制限します。

ユーザー名、パスワードを入力したあと、[適用] をクリックしてください。

接続を許可する IP アドレス

本機にアクセスできるコンピュータの IP アドレスを登録して、本機へのアクセスを制限します。

アクセス制限を行う場合は「特定の IP アドレスのみ」にします。制限を設けない場合は「すべての IP アドレス」にします。

アクセス許可 IP アドレス 1 ~ 3

「接続を許可する IP アドレス」が「特定の IP アドレスのみ」のとき、アクセスを許可する IP アドレスを入力します。

ご参考

- ユーザー名、パスワードは、半角の英数字・記号 8 文字まで入力できます。
- 設定したユーザー名やパスワードを解除 (取り消し) したいときは、空欄にして [設定] をクリックします。

■ ネットワーク (一般設定)

ネットワークに関する一般的な設定を行うことができます。

SHARP Information Display P/N-S655 P/N:S655
PC3 D-SUB 1920x1080

ネットワーク - 一般設定

ディスプレイ名	PN6455 * 半角16文字以内で入力してください。
自動ログアウト時間	11280 分 * 1~65535分の間を設定できます。0に設定すると、この機能は無効になります。
データポート番号	10008 * 1025~65535の間で設定できます。
検索用ポート番号	6006 * 1025~65535の間で設定できます。

再読み込み

ディスプレイ名

Internet Explorer の画面に表示される本機の名前を設定します。

自動ログアウト時間

本機がネットワーク接続を自動的に切断するまでの時間を、分単位で設定します。

1 ~ 65535 分の間で設定できます。0 に設定すると、この機能は無効になります。

データポート番号

データ通信の TCP ポート番号を設定します。

1025 ~ 65535 の間で設定できます。

検索用ポート番号

本機を検索するとき、使用するポート番号を設定します。

1025 ~ 65535 の間で設定できます。

ご参考

- ディスプレイ名は、半角の英数字・記号 16 文字まで入力できます。

■ メール (発信元設定)

異常が発生したときや定期的送信される電子メールについて設定します。

設定はネットワークにより異なります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

SHARP Information Display P/N-S655 P/N:S655
PC3 D-SUB 1920x1080

メール - 発信元設定

SMTPサーバー	* 半角64文字以内で入力してください。
発信元メールアドレス	* 半角64文字以内で入力してください。
発信元名	* 半角64文字以内で入力してください。
認証方法	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> POP before SMTP
POPサーバー	設定の必須ではありません。 * 半角64文字以内で入力してください。
アカウント名	設定の必須ではありません。 * 半角64文字以内で入力してください。
パスワード	***** * 半角64文字以内で入力してください。

再読み込み

SMTP サーバー

メール送信用の SMTP サーバーアドレスを設定します。
※ドメイン名を使用する場合は DNS サーバーの設定も行ってください。(26 ページ)

発信元メールアドレス

本機のメールアドレスを設定します。
ここで設定したアドレスは、発信元のメールアドレスになります。

発信元名

発信元の名前を設定します。
ここで設定した発信元名は、送信するメール本文の「Originator Name (発信元名)」欄に表示されます。

認証方法

メール送信時の認証方法を設定します。

POP サーバー

「認証方法」が「POP before SMTP」のときに、POP サーバーアドレスを設定します。

アカウント名 / パスワード

「認証方法」が「POP before SMTP」の場合、POP サーバー接続の際のアカウント名とパスワードを設定します。

ご参考

- 発信元メールアドレス、発信元名、アカウント名、パスワードは、半角の英数字・記号 64 文字まで入力できます。
- SMTP サーバー、POP サーバーは半角 64 文字まで入力できます。
入力できる文字は「a~z、A~Z、0~9、-、.」です。

コンピュータで本機を制御する (LAN)

■ メール (通知先設定)

異常が発生したときや定期的送信される電子メールの送信先を設定します。

No.	メールアドレス <small>* 半角64文字以内で入力してください</small>	メール通知条件			メール確認
		定期送信	温度異常	ハード異常	
1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト

異常通知メールにディスプレイのログを添付する。
 定期送信メールには添付しません。

適用

■ メール (定期送信設定)

「メール (通知先設定)」の「メール通知条件」で「定期送信」をチェックした場合、メールの送信日時を設定します。

曜日指定 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜
* 定期送信メールを送信する曜日を指定してください。

時刻指定
1: --:--
2: --:--
3: --:--
4: --:--
* 定期送信メールを送信する時刻を最大4つまで設定できます。

適用

メールアドレス

異常時にメールを送信するメールアドレスを設定します。

メール通知条件

メールを発信する条件を設定します。

「定期送信」にチェックした場合、定期送信設定で送信日時を設定してください。

メール確認

テストメールを送信します。

メール送信に関する設定が正しくされているかどうかを確認することができます。

異常通知メールにディスプレイのログを添付する

チェックすると、温度やステータスの異常を通知するメールにログを添付します。

ご参考

- メールアドレスは半角の英数字・記号 64 文字まで入力できます。

曜日指定

定期送信メールを送信する曜日を指定します。

時刻指定

定期送信メールを送信する時刻を指定します。

！ご注意

- 定期送信を設定したときは、主電源を切らないでください。
- 日付・時刻を正しく設定してください。(7 ページ)
日付・時刻が正しく設定されていない場合、定期送信が正しく動作しません。
- 設定されている日付・時刻が正しいか、定期的に確認してください。

■サービス&サポート (リンク先 URL 登録)

本機に異常が発生したとき製品情報のリンク先 URL 欄に URL を表示させることができます。(25 ページ)

The screenshot shows the 'サービス・サポート - リンク先URL登録' (Service & Support - Link URL Registration) page. The page title is 'SHARP Information Display PN-S855' and the model is 'PNS855'. The page number is 'PC3 D-SUB 1920x1080'. The main content area has a table for 'URL表示条件' (URL Display Conditions) with columns for 'URL確認' (URL Confirmation), 'URL表示条件' (URL Display Conditions), and 'リンク先URL' (Link URL). The 'URL表示条件' column has sub-columns for '常時表示' (Always Display), '温度異常' (Temperature Abnormality), and 'ハード異常' (Hardware Abnormality). The 'URL確認' column has a 'URL確認' (URL Confirmation) button. The 'リンク先URL' column has a text input field and a 'リンク先URL' (Link URL) button. Below the table is a '適用' (Apply) button and a '再読み込み' (Refresh) button. The left sidebar contains a navigation menu with categories: '製品情報' (Product Information), 'リモコン操作' (Remote Control Operation), '各種調整' (Various Adjustments), 'ネットワーク' (Network), 'メール' (Email), and 'サービス・サポート' (Service & Support). The 'サービス・サポート' category is selected, and the 'リンク先URL登録' (Link URL Registration) option is highlighted. At the bottom left, there is a language selection dropdown set to '日本語' (Japanese).

リンク先 URL

本機に異常が発生したときに表示される URL を入力します。

半角の英数字・記号 64 文字まで入力できます。

URL 表示条件

URL を表示する条件を指定します。

URL 確認

設定した URL のホームページを表示します。

URL が正しく入力されているかどうかを確認することができます。

ご参考

- リンク先 URL に、URL の代わりに連絡先名や電話番号などのメッセージテキストを入れて、それを表示させることもできます。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
ビジネスソリューション事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

●住所などは変わることがあります。(2009.5)

PN-S655 G JA09E(4)